



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社

コード番号 4205 URL <https://www.zeon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 豊嶋哲也

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理統括部門長 (氏名) 青柳清文 TEL 03-3216-2747

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	109,466	6.2	16,300	34.4	18,849	57.4	12,711	69.4
2026年3月期第1四半期	103,083	△2.8	12,129	34.2	11,973	△2.1	7,506	△8.3

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 25,266百万円 (399.0%) 2026年3月期第1四半期 5,063百万円 (△56.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	66.43	66.40
2026年3月期第1四半期	38.06	38.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	603,320	395,811	65.5
2026年3月期	548,246	378,252	68.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 395,000百万円 2026年3月期 377,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	36.00	—	40.00	76.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		39.00	—	40.00	79.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	405,000	△1.7	38,000	4.5	37,000	△7.6	36,000	△0.6	185.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) ジスインフォテクノ株式会社、除外 1 社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料 P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|------------------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 : | 無 |
| ④ 修正再表示 : | 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	209,251,256株	2026年3月期	209,251,256株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	17,905,776株	2026年3月期	17,905,749株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	191,345,489株	2026年3月期1Q	197,190,844株

※ 当社は、「株式給付信託 (BBT-RS)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー: 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(重要な後発事象の注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の経営環境を振り返りますと、国内経済・海外経済ともに緩やかな回復が継続する一方、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響などが景気を下押しする懸念が依然として拭えず、また、中東情勢の緊迫化に伴う影響についても予断を許さない状況が続くなど、当社グループを取り巻く環境としては先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、「ZΣ運動」による徹底したコスト削減や、生産革新活動に注力するとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,094億66百万円となり、前年同期間に比べて63億83百万円の増収となりました。また、営業利益は163億円と前年同期間に比べて41億71百万円の増益、経常利益は188億49百万円と前年同期間に比べて68億76百万円の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は127億11百万円と前年同期間に比べて52億5百万円の増益となりました。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

(エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、中東情勢悪化に伴う主原料の調達量見合いでの生産となり、汎用ゴムの輸出スポット販売をコントロールしたため、売上高は前年同期間を下回りましたが、原料価格等の上昇を反映した販売価格改定の進捗や為替円安の影響により、営業利益は前年同期間を上回りました。

合成ラテックス関連では、医療・衛生用手袋向けにおいて、徳山工場における生産設備を計画より前倒しして停止したことから、売上高は前年同期間を下回りましたが、原料価格等の上昇を反映した販売価格改定の進捗や販売費及び一般管理費の削減等により、営業利益は前年同期間を上回りました。

化成品関連では、原料価格等の上昇を反映した販売価格改定の進捗により、売上高、営業利益ともに前年同期間を上回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は、前年同期間に比べて92百万円増加し581億61百万円、営業利益は前年同期間に比べて13億20百万円増加し55億46百万円となりました。

(高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、半導体用途向けシクロオレフィンポリマー及び大型テレビ向け光学フィルムの需要が堅調に推移し、為替円安の影響も受けたことから、高機能樹脂関連全体の売上高、営業利益ともに前年同期間を上回りました。

電池材料関連では、欧州各国におけるBEV購入時の補助金支給再開を背景とした販売台数の増加や、グローバルでAIデータセンター向けをはじめとするESS（電力貯蔵システム）用電池の需要拡大が継続したことから、全体の売上高、営業利益ともに前年同期間を上回りました。

化学品関連では、前年同期間に主力生産工場の定期検査による出荷調整を実施していたため販売数量が増加したことに加え、為替円安の影響により、売上高は前年同期間を上回りましたが、合成香料市場における競争環境が厳しくなっている影響を受けて、営業利益は前年同期間を下回りました。

電子材料関連では、半導体市場における活発なAI関連投資を背景に需要が旺盛となり、またディスプレイ市場の堅調な需要も加わったことから、売上高、営業利益ともに前年同期間を上回りました。

トナー関連では、欧州向け需要の回復等により、売上高、営業利益ともに前年同期間を上回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は、前年同期間に比べて45億43百万円増加し338億39百万円、営業利益は前年同期間に比べて27億21百万円増加し101億9百万円となりました。

(その他の事業部門)

その他の事業においては、子会社の商事部門等の売上高が前年同期間を上回りました。

以上の結果、その他の事業部門全体の売上高は、前年同期間に比べて21億17百万円増加し184億95百万円、営業利益は前年同期間に比べて45百万円減少し9億64百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて550億74百万円増加し6,033億20百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、投資有価証券の評価増等によるものであります。

(負債)

当四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて375億14百万円増加し2,075億8百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、コマーシャル・ペーパーの増加等によるものであります。

(純資産)

当四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて175億59百万円増加し3,958億11百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中東情勢悪化による今後の見通しが引き続き不透明なため、2026年5月13日に公表いたしました連結業績予想を据え置いております。引き続き、当社製品を安定的に市場へ供給できるよう努めてまいります。今後、事業及び年間業績に与える影響等が判明した段階には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,678	40,145
受取手形及び売掛金	63,776	65,861
電子記録債権	4,611	5,048
商品及び製品	93,361	98,148
仕掛品	7,562	8,549
原材料及び貯蔵品	23,325	24,244
未収入金	27,715	34,548
その他	8,633	9,340
貸倒引当金	△116	△116
流動資産合計	257,545	285,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	49,246	49,210
機械装置及び運搬具（純額）	50,820	50,207
土地	18,069	18,082
建設仮勘定	70,354	84,114
その他（純額）	5,627	5,781
有形固定資産合計	194,116	207,394
無形固定資産		
その他	6,337	6,267
無形固定資産合計	6,337	6,267
投資その他の資産		
投資有価証券	73,712	90,099
繰延税金資産	6,486	3,448
その他	13,123	13,515
貸倒引当金	△3,073	△3,172
投資その他の資産合計	90,248	103,890
固定資産合計	290,701	317,551
資産合計	548,246	603,320

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,734	68,153
電子記録債務	2,550	3,007
短期借入金	8,960	8,960
コマーシャル・ペーパー	7,000	28,000
未払金	29,430	36,209
未払法人税等	10,005	6,054
賞与引当金	2,783	744
修繕引当金	4,728	9,434
その他の引当金	25	150
その他	20,036	21,625
流動負債合計	144,250	182,336
固定負債		
長期未払法人税等	40	40
繰延税金負債	1,421	3,069
退職給付に係る負債	12,983	13,263
修繕引当金	3,044	561
その他の引当金	531	370
その他	7,725	7,870
固定負債合計	25,744	25,172
負債合計	169,994	207,508
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	19,323	19,323
利益剰余金	302,770	307,774
自己株式	△23,853	△23,853
株主資本合計	322,452	327,456
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,120	37,353
繰延ヘッジ損益	4	4
為替換算調整勘定	28,131	29,427
退職給付に係る調整累計額	769	760
その他の包括利益累計額合計	55,023	67,544
新株予約権	88	88
非支配株主持分	689	723
純資産合計	378,252	395,811
負債純資産合計	548,246	603,320

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	103,083	109,466
売上原価	69,546	72,300
売上総利益	33,537	37,166
販売費及び一般管理費	21,408	20,865
営業利益	12,129	16,300
営業外収益		
受取利息	52	47
受取配当金	1,095	1,084
受取保険金	—	1,297
為替差益	—	472
持分法による投資利益	17	23
雑収入	158	187
営業外収益合計	1,322	3,108
営業外費用		
支払利息	46	73
為替差損	923	—
休止固定資産費用	96	196
投資事業組合運用損	16	26
雑損失	398	265
営業外費用合計	1,479	560
経常利益	11,973	18,849
特別利益		
固定資産売却益	2	1
投資有価証券売却益	26	—
事業譲渡益	—	250
特別利益合計	29	251
特別損失		
固定資産処分損	63	104
減損損失	826	293
その他	—	5
特別損失合計	889	403
税金等調整前四半期純利益	11,112	18,697
法人税等	3,600	5,956
四半期純利益	7,512	12,742
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,506	12,711

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	7,512	12,742
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,064	11,233
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	△4,337	1,348
退職給付に係る調整額	△14	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	△165	△49
その他の包括利益合計	△2,449	12,525
四半期包括利益	5,063	25,266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,094	25,232
非支配株主に係る四半期包括利益	△31	34

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(原価差異の繰延処理)

季節的に変動する操業度等により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）及び流動負債（その他）として繰り延べております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	57,748	29,279	87,027	16,056	103,083	—	103,083
外部顧客への売上 高	57,748	29,279	87,027	16,056	103,083	—	103,083
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	321	17	338	322	660	△660	—
計	58,069	29,296	87,365	16,378	103,743	△660	103,083
セグメント利益	4,227	7,388	11,615	1,009	12,623	△494	12,129

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△494百万円は、セグメント間取引消去22百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△516百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。
5. 一定の期間にわたり移転される財又はサービスから生じる収益は重要性がないことから記載しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エラストマー素材事業」、「高機能材料事業」、「その他」、各報告セグメントに配分していない「全社資産」において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては「エラストマー素材事業」241百万円、「高機能材料事業」563百万円、「その他」3百万円、「全社資産」19百万円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2026年4月1日 至2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	57,518	33,832	91,349	18,117	109,466	—	109,466
外部顧客への売上 高	57,518	33,832	91,349	18,117	109,466	—	109,466
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	643	8	651	379	1,029	△1,029	—
計	58,161	33,839	92,000	18,495	110,496	△1,029	109,466
セグメント利益	5,546	10,109	15,655	964	16,619	△318	16,300

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△318百万円は、セグメント間取引消去15百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△333百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

5. 一定の期間にわたり移転される財又はサービスから生じる収益は重要性がないことから記載しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エラストマー素材事業」、「高機能材料事業」、「その他」、各報告セグメントに配分していない「全社資産」において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては「エラストマー素材事業」250百万円、「高機能材料事業」38百万円、「その他」4百万円、「全社資産」2百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	3,995百万円	4,568百万円

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。